

2009年3月期 第3四半期 連結業績説明会



Internet Initiative Japan

株式会社インターネットイニシアティブ（証券コード：3774）

2009.2.12

<http://www.ij.ad.jp/IR/>

I. 2009年3月期 第3四半期総括 及び 通期見通しについて

II. 2009年3月期 第3四半期連結業績について

III. ご参考資料

I. 2009年3月期 第3四半期総括 及び 通期見通し

《2009年3月期 第3四半期(累計)実績》

・営業収益(売上高)	50,789百万円	(前年同期比 5.0%増)
・営業利益	1,844百万円	(前年同期比 37.5%減)

- 営業収益は前年同期比5.0%増収、ストック売上は前年同期比16.3%増と堅調に伸長
- SIは景気悪化にて4Qに向けた受注残高が伸び悩み、
受注残高 前年同期末比16.6%減
- コストコントロールにより下期にて期初想定比約8.5億円の削減見込み
 - SI外注要員2Q末比100名程度(4Q末時)削減、ネットワーク投資効率化約1億円、人件関連費用抑制約1.5億円、その他コスト削減
- 既存事業は継続的に利益改善、新設子会社の損失が負担
 - 既存事業(新設4子会社分差引後)営業利益率 3Q07:6.7%、1Q08:3.5%、2Q08:5.2%、3Q08:6.9%
 - 新設4子会社営業損失 8.2億円(3Q累計)

- 足元のSI受注状況を勘案し、通期業績を下方修正
 - 配当予想は変更なし
 - 足元の景気影響は顕在化したが中長期的な企業の情報システムIP化ニーズは不変と認識
- 来期も市場環境は厳しいが、ストック売上の伸張、SI売上の確保、新設子会社損失の縮小により増収増益を展望

Ⅱ-1. 2009年3月期 第3四半期(累計)連結実績サマリー

単位: 億円

	売上比 3Q08累計 (08/4~08/12)	売上比 3Q07累計 (07/4~07/12)	前年同期比
営業収益 (売上高)	507.9	483.5	5.0%
売上原価	81.2% 412.5	80.0% 386.6	6.7%
売上総利益	18.8% 95.3	20.0% 96.9	△ 1.6%
販売管理費等	15.1% 76.9	13.9% 67.4	14.2%
営業利益	3.6% 18.4	6.1% 29.5	△ 37.5%
税引前当期利益	2.4% 12.4	5.6% 27.1	△ 54.2%
当期純利益	0.7% 3.5	8.5% 40.9	△ 91.3%

▶ ストック売上が引き続き順調に増加(前年同期比16.3%増、売上構成比78.8%)

▶ 新設4子会社に係る原価は391百万円

▶ 新設4子会社に係る販管費は451百万円

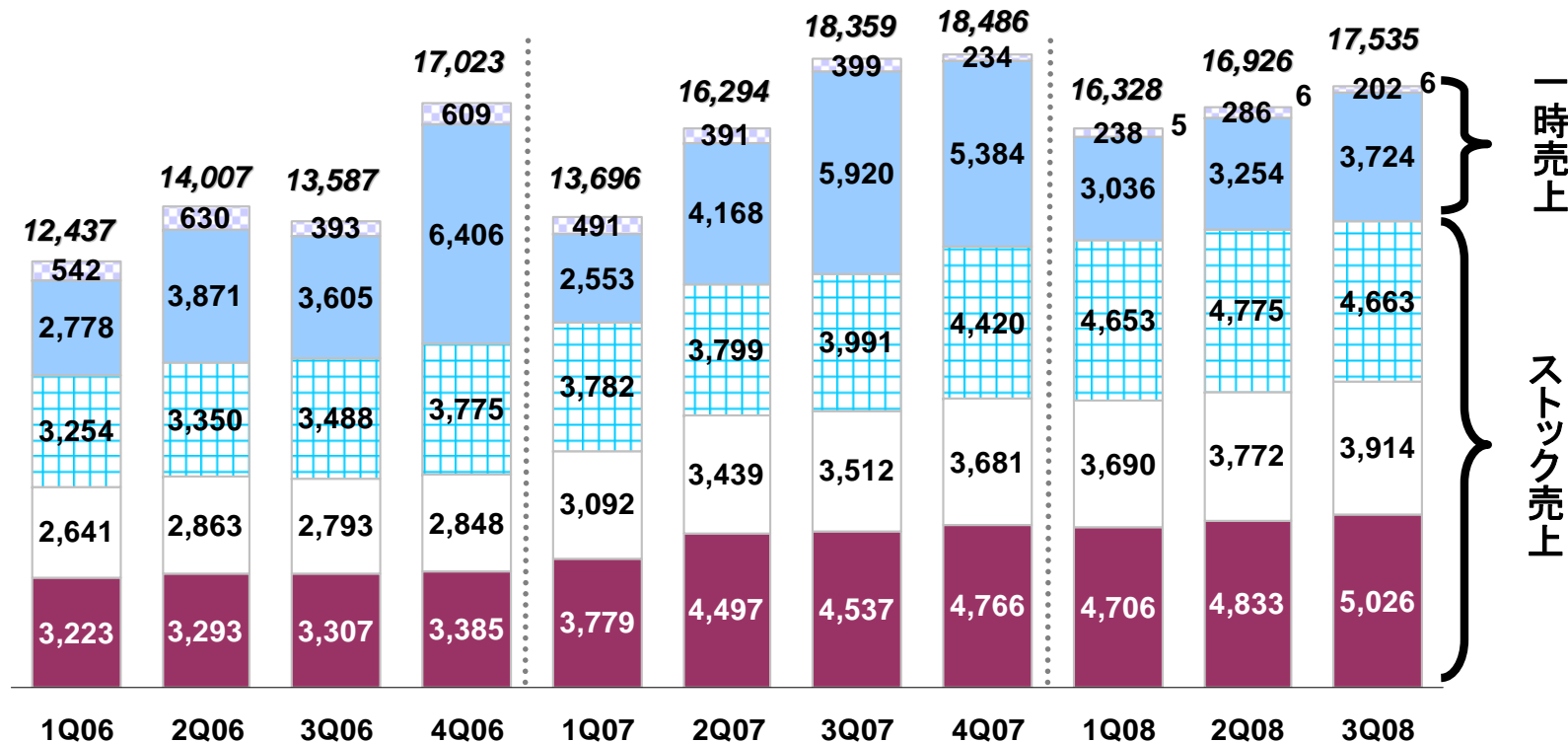
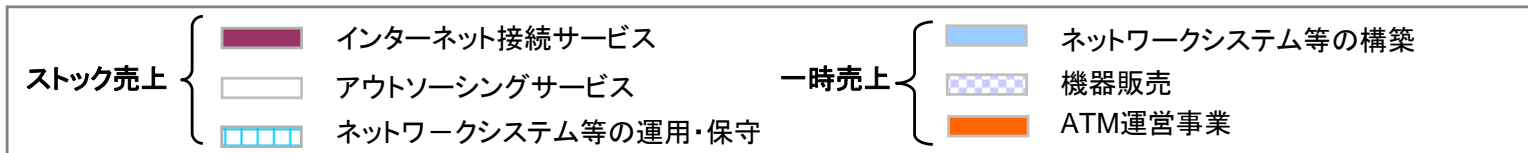
▶ 新設4子会社にて823百万円の営業損失

▶ 既存事業ベースでは、営業利益率が3Q08(3ヶ月)にて3Q07比0.2ポイント・2Q08比1.7ポイント上昇

▶ 投資有価証券評価損329百万円

▶ 税効果会計による法人税等調整額(損)972百万円

II-2. 営業収益(売上高)の推移

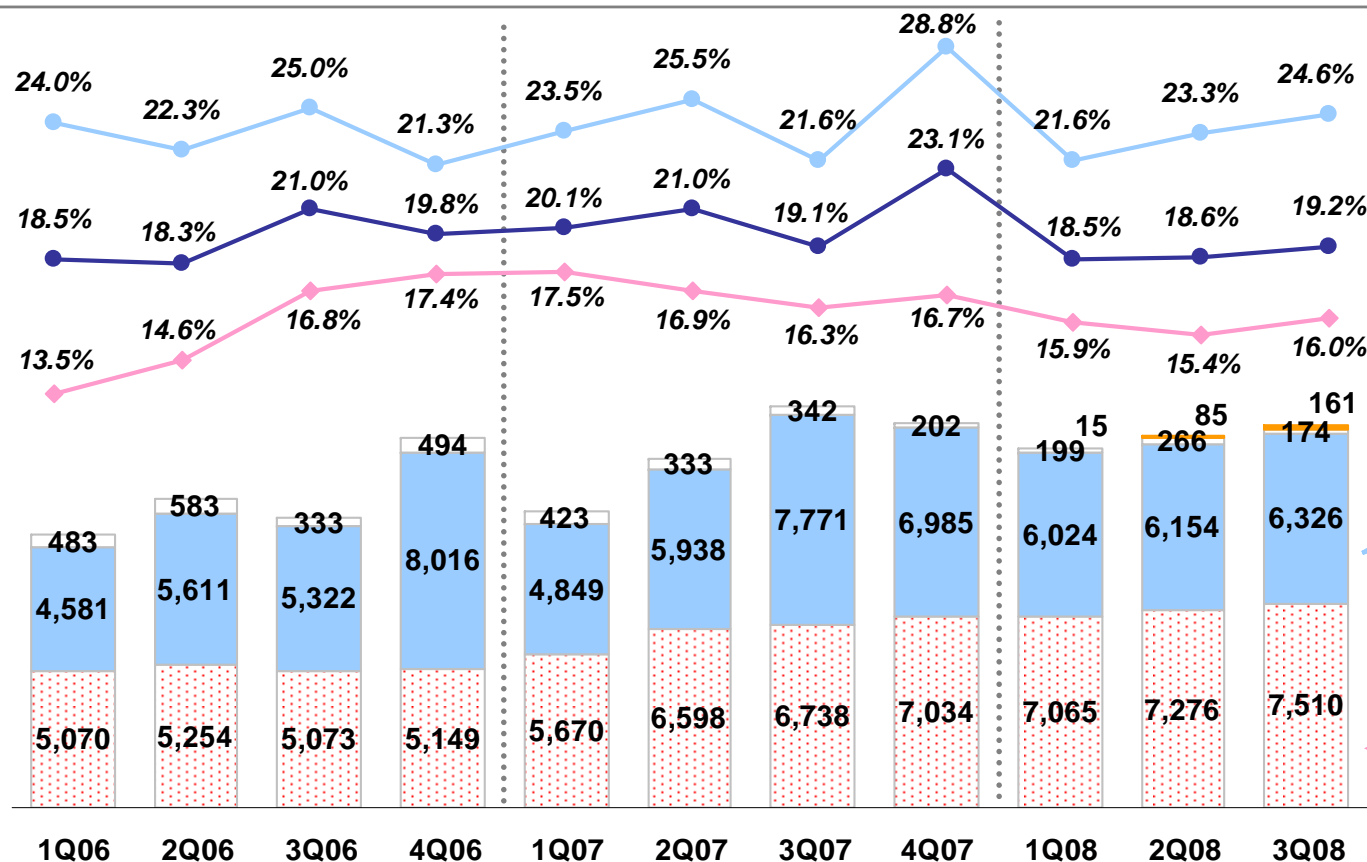


- ◆ 3Q08 ストック売上は順調に積み上がり13,603百万円、3Q07比13.0%増、2Q08比1.7%増
 - インターネット接続サービス：3Q07比10.8%増、2Q08比4.0%増
 - アウトソーシングサービス：3Q07比11.4%増、2Q08比3.8%増
 - SI運用保守：3Q07比16.8%増、2Q08比2.3%減
- ◆ 3Q08 SI構築売上は大口案件のあった3Q07比減少し3,724百万円 37.1%減、2Q08比14.4%増

II-3. 売上原価・売上総利益率の推移

単位：百万円

売上原価 インターネット接続及びアウトソーシングサービス システムインテグレーション 機器販売
 売上総利益率 ◆ インターネット接続及びアウトソーシングサービス ● システムインテグレーション ATM運営 ● 全体売上総利益率



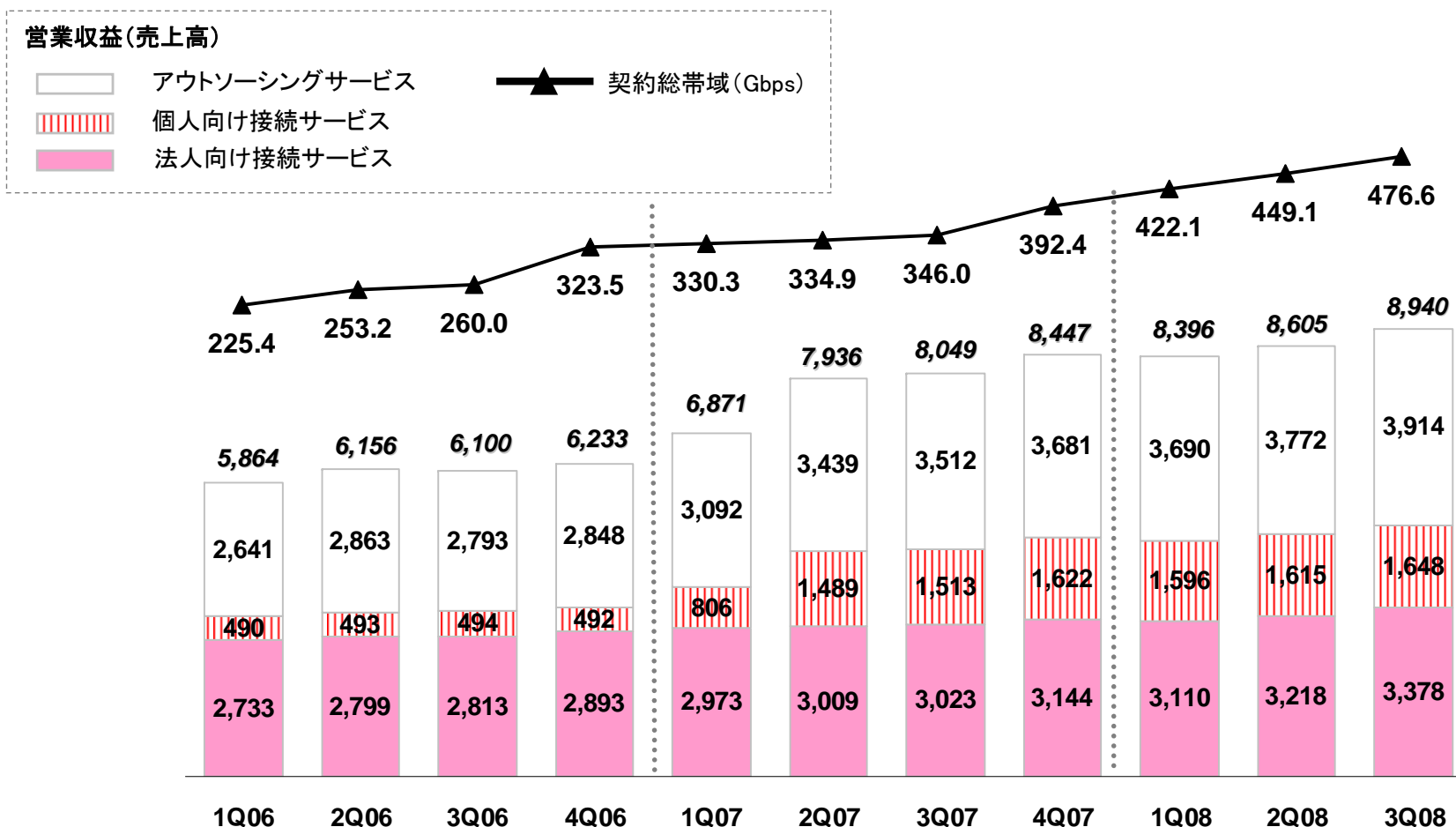
システムインテグレーション原価
 仕入、外注関連、設備関連、
 人件関連費用 等

**インターネット接続及び
アウトソーシングサービス原価**
 バックボーン等回線関連、
 ネットワーク等設備関連、
 外注関連、人件関連費用 等

- ◆ 3Q08 インターネット接続及びアウトソーシングサービス原価：3Q07比11.5%増、2Q08比3.2%増
 売上総利益率は、3Q07比0.3ポイント減、2Q08比0.6ポイント増
- ◆ 3Q08 システムインテグレーション原価：3Q07比18.6%減、2Q08比2.8%増
 売上総利益率は、3Q07比3.0ポイント増、2Q08比1.3ポイント増
- ◆ 3Q08 ATM運営原価：3Q08にて161百万円、2Q08比75百万円増
- ◆ 今期の全体売上総利益率はQ毎に継続向上

Ⅱ-4. インターネット接続及びアウトソーシングサービス

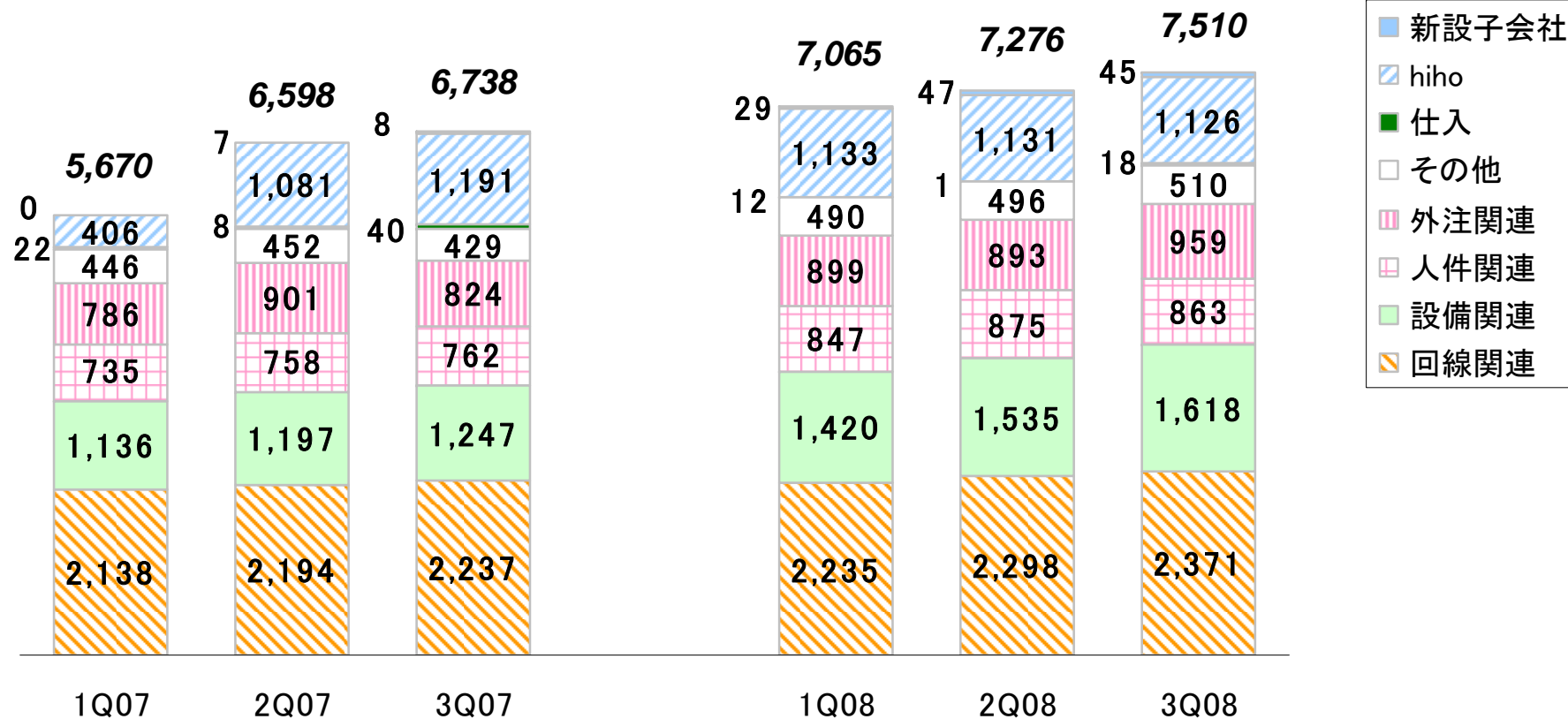
① 売上の推移



- ◆ 3Q08 法人向け接続サービス : 3Q07比11.7%増、2Q08比5.0%増
 - 1Gbps超の大口契約が3Q07比+21件と順調に増加、契約総帯域は継続的に拡大
 - IIJモバイル受注回線数は約18,000回線、損益分岐点に到達
- ◆ 3Q08 個人向け接続サービス : 3Q07比8.9%増、2Q08比2.0%増
- ◆ 3Q08 アウトソーシングサービス : 3Q07比11.4%増、2Q08比3.8%増
 - データセンター関連サービス、メール系サービスが引き続き堅調に推移

Ⅱ-4. インターネット接続及びアウトソーシングサービス

② 原価の推移

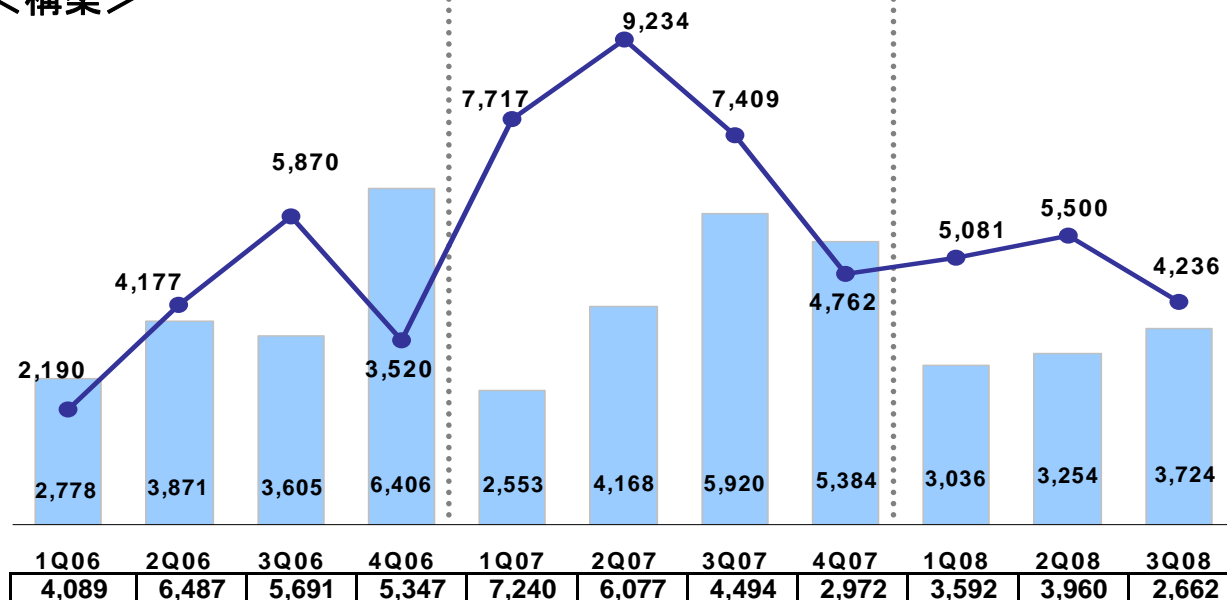


- ◆ 原価総額 3Q07比11.5%増、2Q08比3.2%増
- ◆ 2Q08比にて設備関連費用、回線関連費用、外注関連費用等が増加
 - リース・減価償却費、データセンター増加等により設備関連費用増加
 - 国内回線増強、相互接続費用の増加等により回線関連費用増加
- ◆ 3Q08の新設子会社GDX Japan、オンデマンドソリューションズの原価 45百万円計上

Ⅱ-5. システムインテグレーション ① 売上の推移

単位：百万円

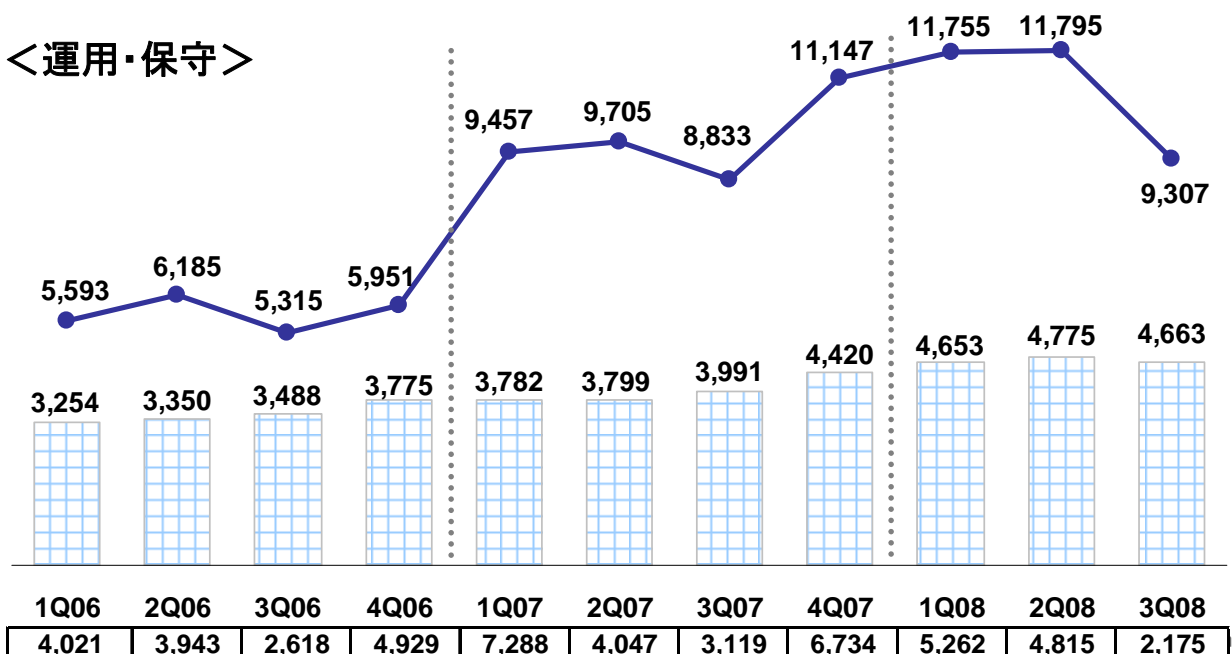
<構築>



3Q08 SI構築の状況

- ◆ 売上 3Q07比 37.1%減・2,196百万円減、2Q08比 14.4%増・470百万円増
- 足元の急速な景気悪化影響により、4Qに向けた新規案件受注が低下
- 3Q08末受注残高は3Q07末比42.8減・3,172百万円減、3Q06末比27.8%減・1,633百万円減

<運用・保守>

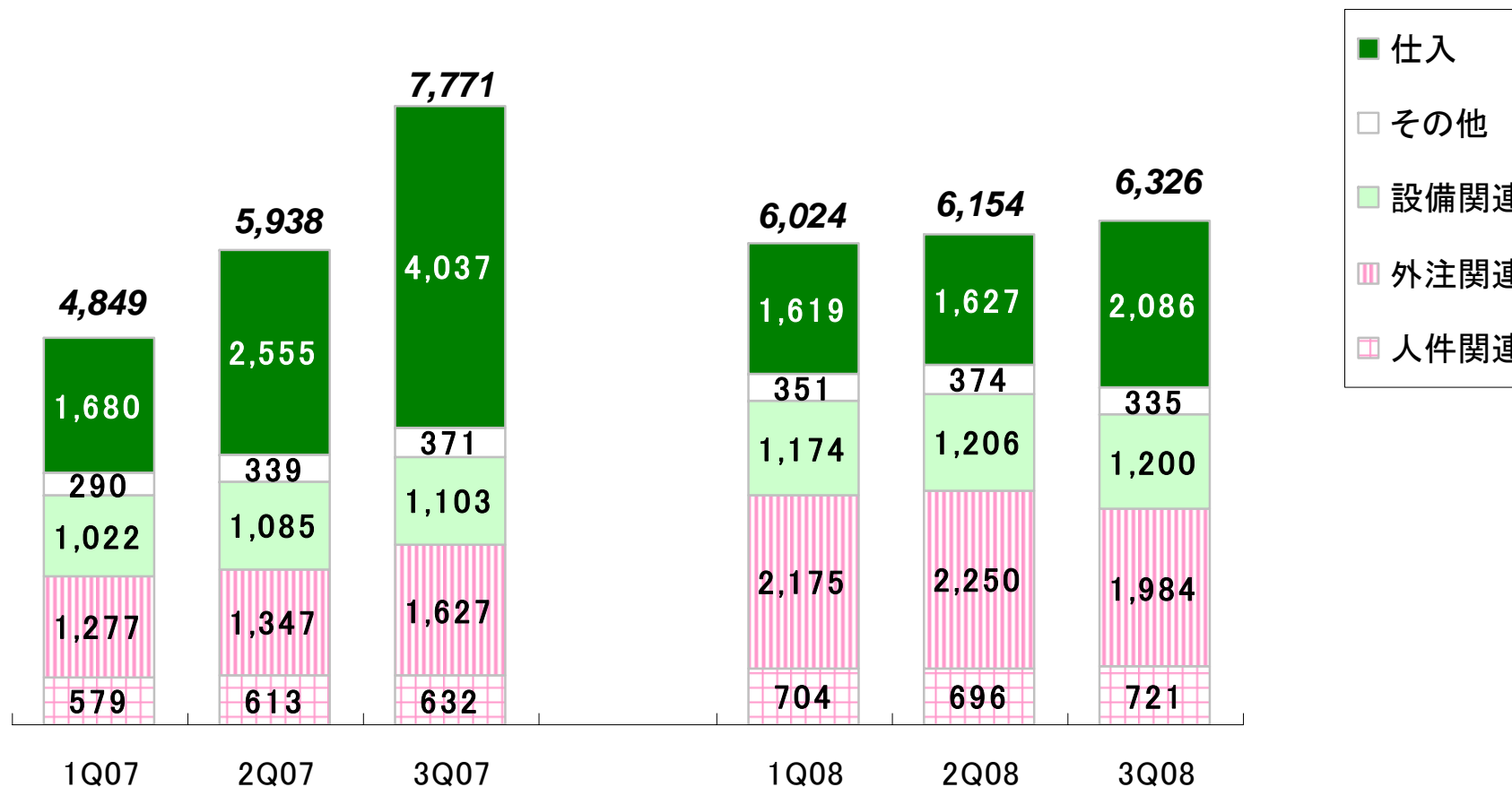


3Q08 SI運用・保守の状況

- ◆ 売上 3Q07比 16.8%増・672百万円増、2Q08比 2.3%減・111百万円減
- 3Q08売上は一部大口顧客の減額、保守費計上タイミングにより2Q比減少
- 3Q末受注残高は4Q末契約更新(通常1年契約)集中により減少
3Q07末比5.4%増・474百万円増、3Q06末比75.1%増・3,992百万円増

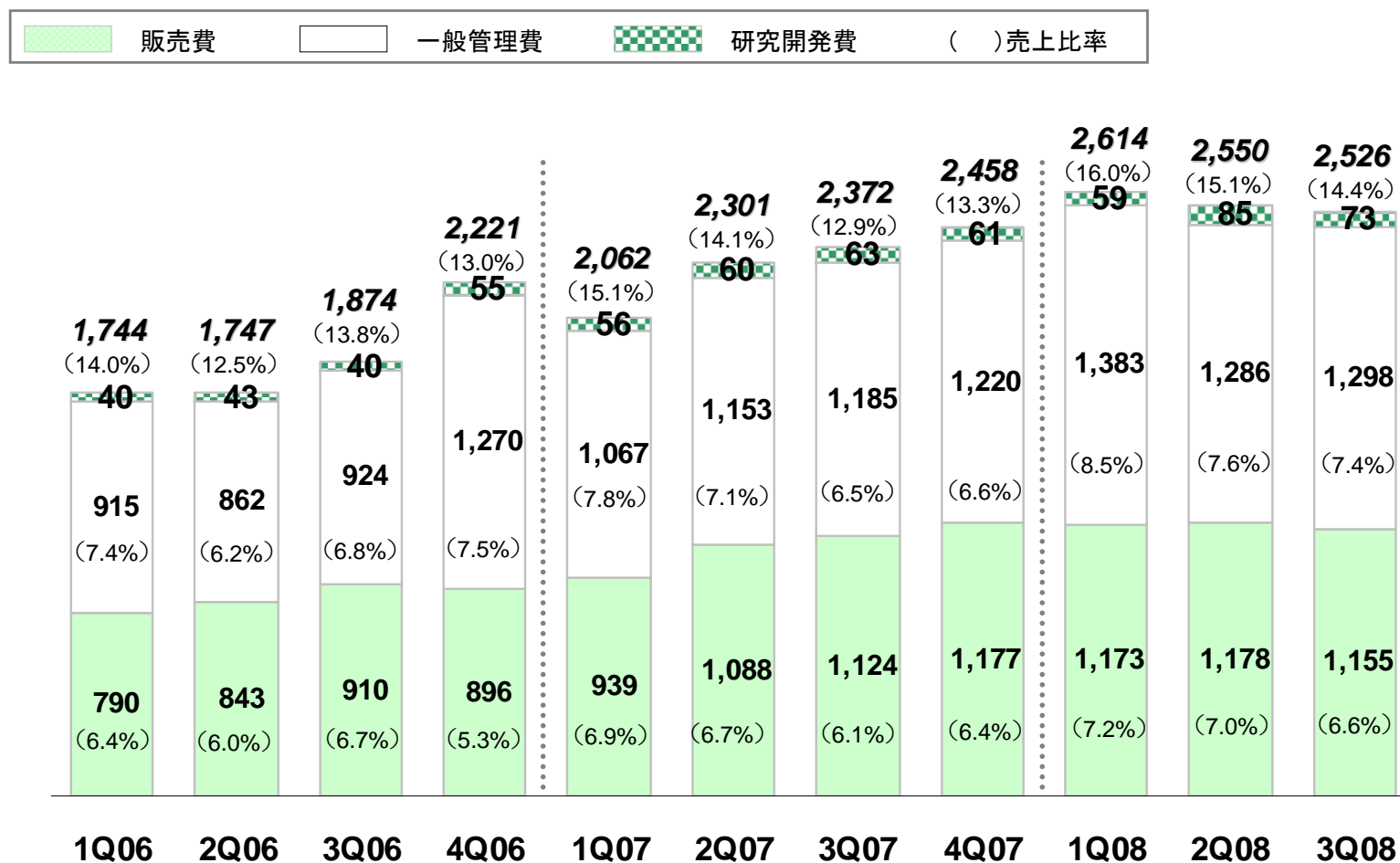
SI構築売上高
 SI運用・保守売上高
 受注残高
 数値
} ※受注金額・残高に機器販売を含む

Ⅱ-5. システムインテグレーション ② 原価の推移



- ◆ 原価総額 3Q07比 18.6%減、2Q08比 2.8%増
- ◆ 2Q08比にて外注関連費用が減少、仕入は売上伸張に伴い増加
 - 2Q08末比50名超の外注要員削減により外注関連費用減少
 - 4Q08末に向け更なる外注要員数削減及びコストコントロールを継続実施

II-6. 販売管理費の推移

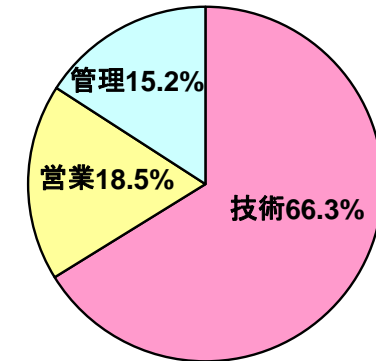
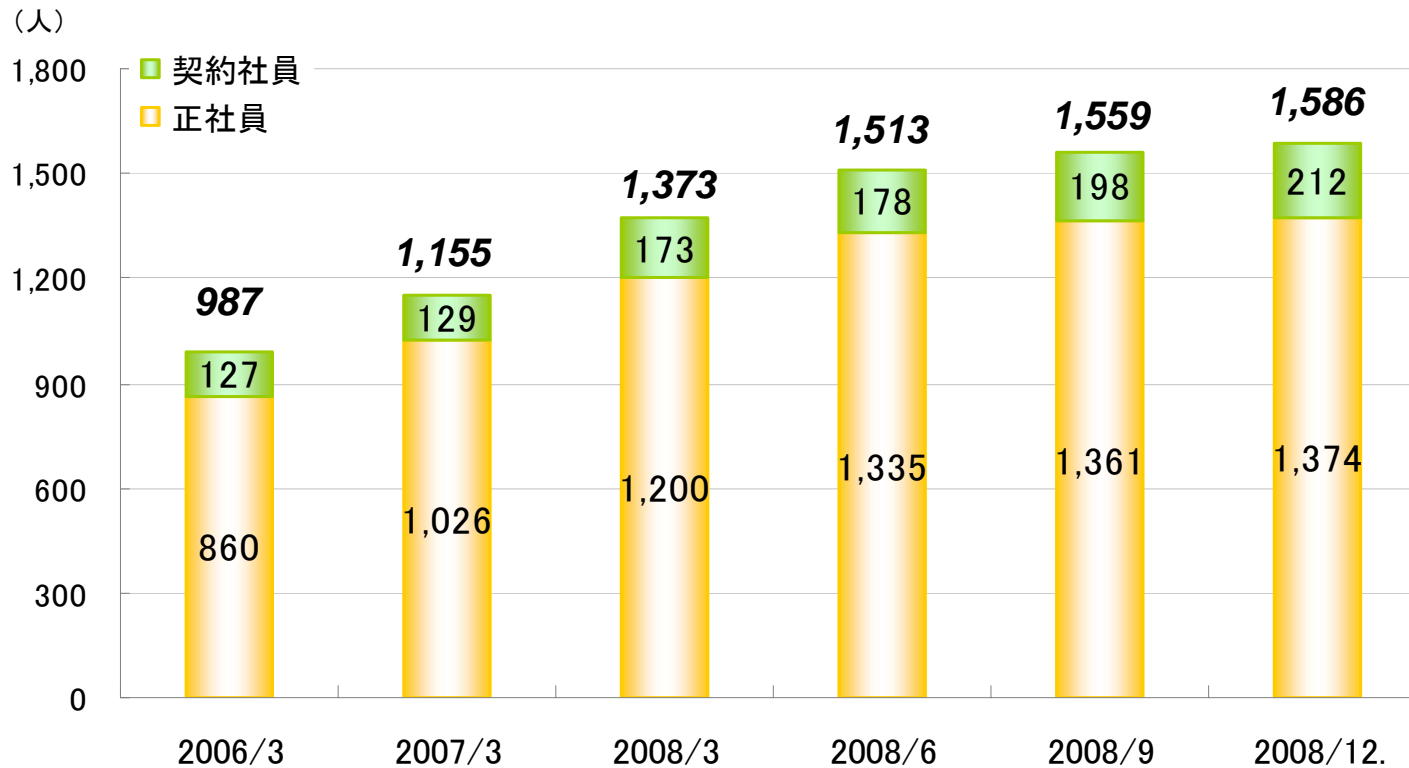


◆ 3Q08 販売管理費 : 3Q07比6.5%増、2Q08比0.9%減、売上比率は14.4%

- 2Q08比にて消耗品、人材獲得手数料、外注費用等が減少
- 3Q08にて新設4子会社 販管費175百万円計上
- 3Q08累計にてハイホーに関する販管費が増加(前年同期7ヶ月分、当期9ヶ月分)

II-7. 連結従業員数の推移

＜IIJグループの部門別人員構成＞

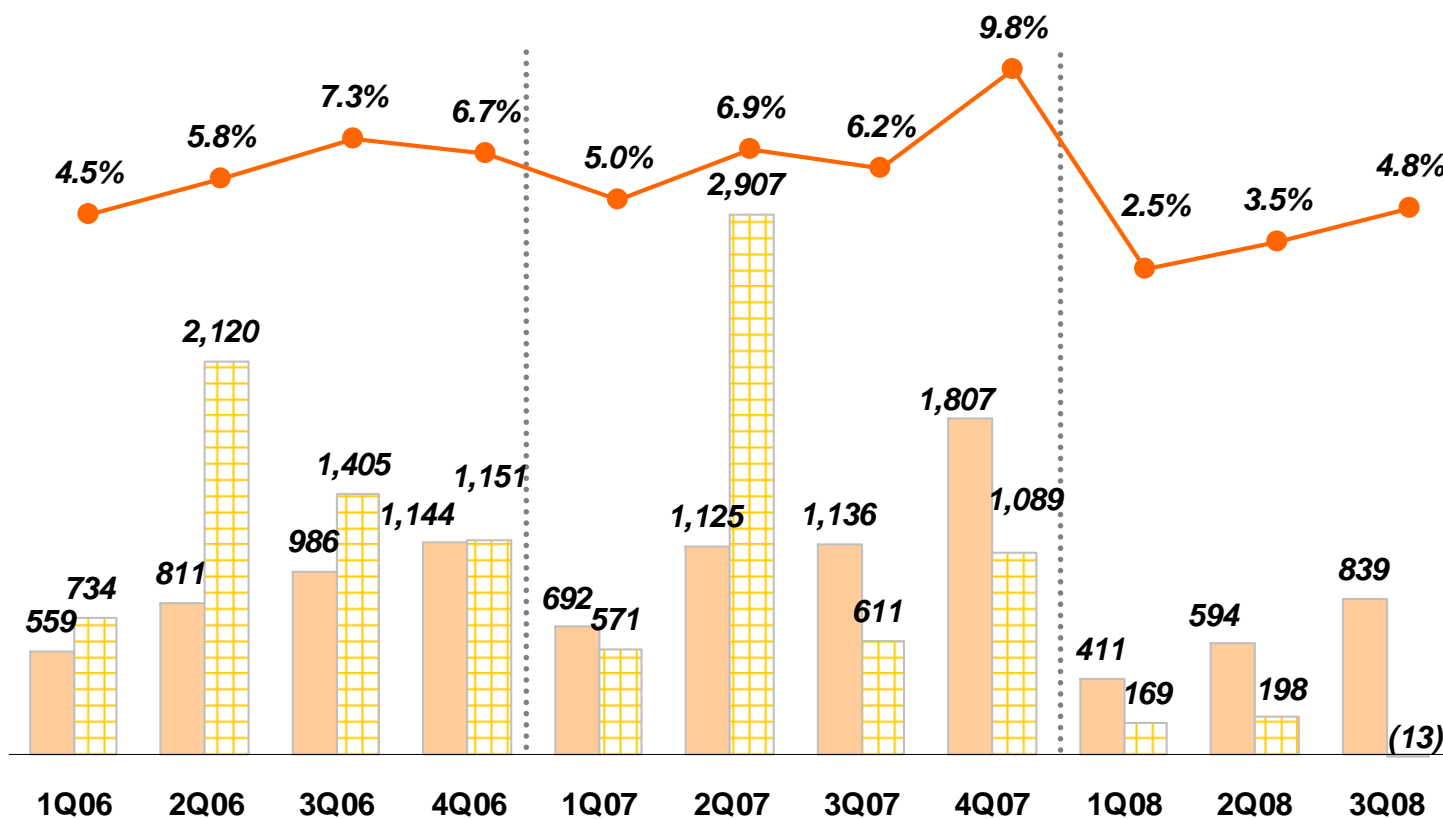


人件関連費用	2,599	2,605	2,617

(単位: 百万円)

- ◆ 2Q08末比27名増 (うち正社員13名、契約社員14名)
 - 人件関連費用は2Q08比ほぼ同水準

Ⅱ-8. 営業利益・当期純利益の推移



- ◆ 3Q08 営業利益:
3Q07比26.2%減、2Q08比41.2%増
 - ▶ 新設4子会社にて370百万円の営業損失計上
 - ▶ 既存事業ベースでは3Q08営業利益率 3Q07比0.2ポイント上昇、2Q08比1.7ポイント上昇

- ◆ 3Q08 当期純利益:
3Q07比102.2%減、2Q08比106.7%減
 - ▶ その他損益: 非上場株式、上場株式の減損268百万円を計上
 - ▶ 法人所得税: 税効果会計による594百万円の法人税等調整額(損)により653百万円、4Q08に法人税等調整額(益)計上予定
 - ▶ 少数株主損益: GDJ Japan及びトラストネットワークスに係る損失により120百万円の益
 - ▶ 持分法による投資損益: 44百万円の益

	1Q07	2Q07	3Q07	4Q07	1Q08	2Q08	3Q08
法人所得税	175	▲1,980	392	552	213	326	653
少数株主損益	9	15	27	45	55	85	120
持分法損益	▲20	▲29	▲42	▲52	18	▲17	44

II-9. スtock売上の状況

	3Q08(累計) 売上構成比	売上成長率	状況
法人向け接続 サービス	19.1%	<前年累計比> 7.8% <前年同Q比> 11.7%	<ul style="list-style-type: none"> 企業のインターネット利用拡大や映像配信サービス等の普及によるケーブルテレビやISPの増速ニーズに伴い、1Gbps超の大口契約が順調に増加(前年同期比21件増)。契約総帯域は476.6Gbpsまで拡大。 IIJモバイルは、大口契約1件の解約があったものの、引き続き受注回線数は増加し約18,000回線。新たなソリューションの開発・提供により、更なる受注拡大を目指す。
個人向け接続 サービス	9.6%	<前年累計比> 27.6% <前年同Q比> 8.9%	<ul style="list-style-type: none"> hihoの売上寄与が前年同期7ヶ月(2,537百万円)から9ヶ月(3,682百万円)へ。 12月より、「IIJ mio」「hiho」において高速モバイルデータ通信サービスの提供開始。
アウトソーシング サービス	22.4%	<前年累計比> 13.3% <前年同Q比> 11.4%	<ul style="list-style-type: none"> データセンター関連サービスは、引き続き需要が好調であり売上伸張。2月より「練馬データセンター」稼動。 迷惑メール対策等メール系サービスも堅調に推移。
システム 運用保守	27.7%	<前年累計比> 21.8% <前年同Q比> 16.8%	<ul style="list-style-type: none"> システム構築売上の計上に伴い継続的に積み上がり。
Stock売上 合計	78.8%	<前年累計比> 16.3% <前年同Q比> 13.0%	

<主な内容>

<下期見込み>

接続及び アウトソーシング

- ネットワーク投資効率化（約1億円）
 - ・ バックボーン増強等の規模及び時期の見直し等
- 人材関連費用削減（約1億円）
 - ・ 人材獲得抑制、人材獲得費用削減、等
- その他費用の削減（約1.5億円）
 - ・ 広告宣伝、その他費用の削減



期初想定比
約3.5億円削減

システム インテグレーション

- SI 外注の内製化（約3.5億円）
 - ・ 外注要員2Q末比△約30名（10月末）、△約50名（3Q末）、△約100名（4Q末予定）
- 採用計画の見直し（約0.5億円）
 - ・ 期初採用計画比約30名縮小
- その他費用の削減（約1億円）

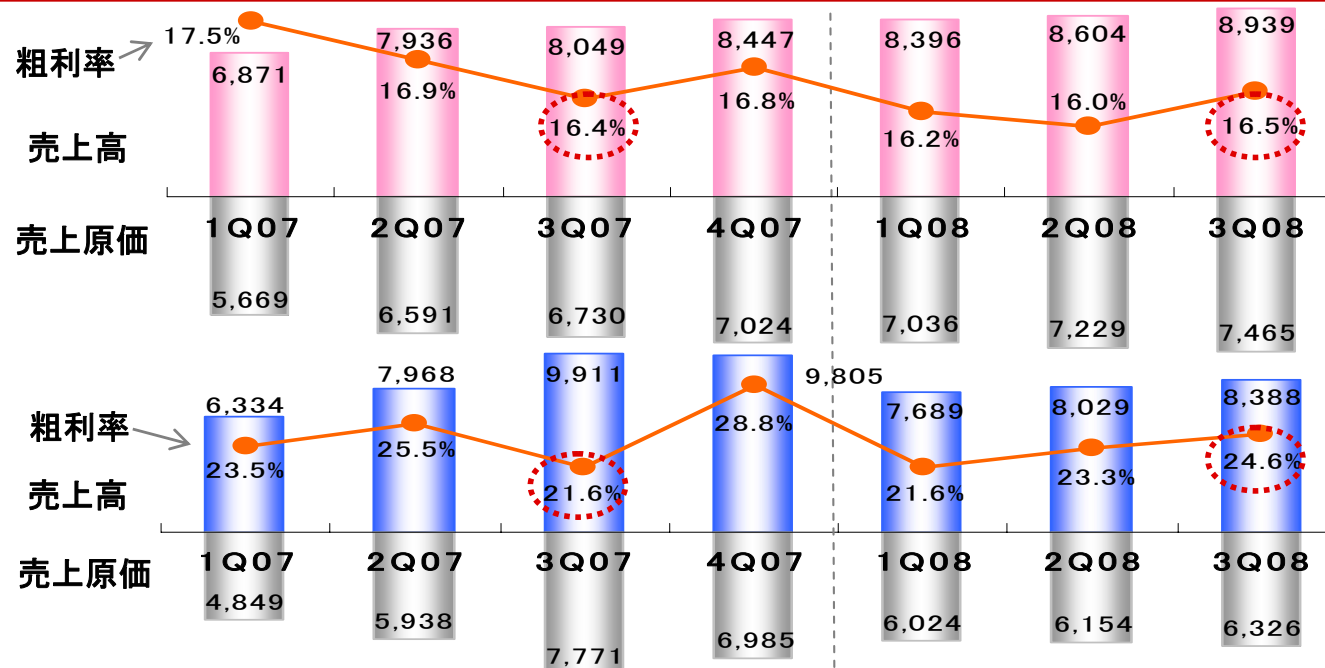


期初想定比
約5億円削減

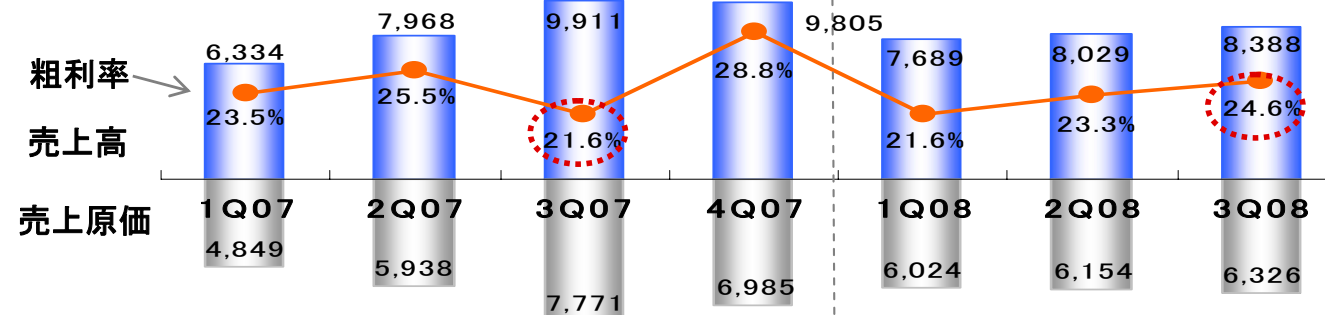
II-11. 既存事業の収益推移

単位: 百万円

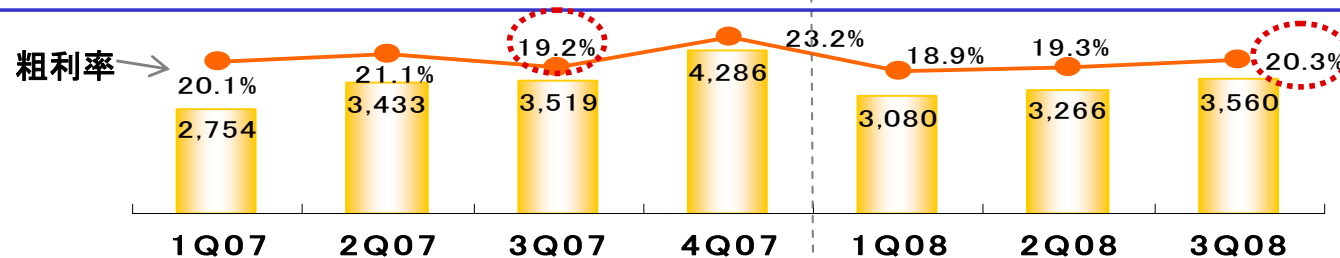
接続 及び アウトソーシング



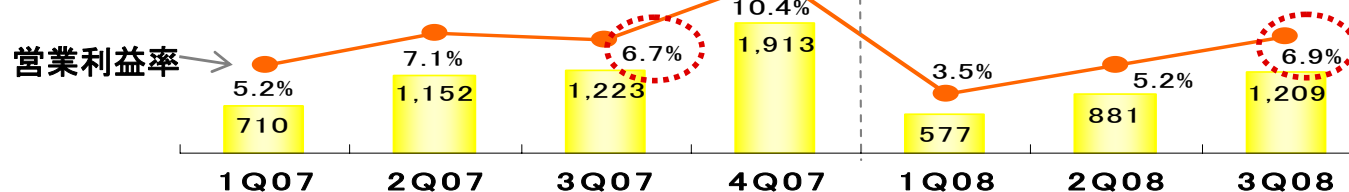
システム インテグレーション



売上総利益



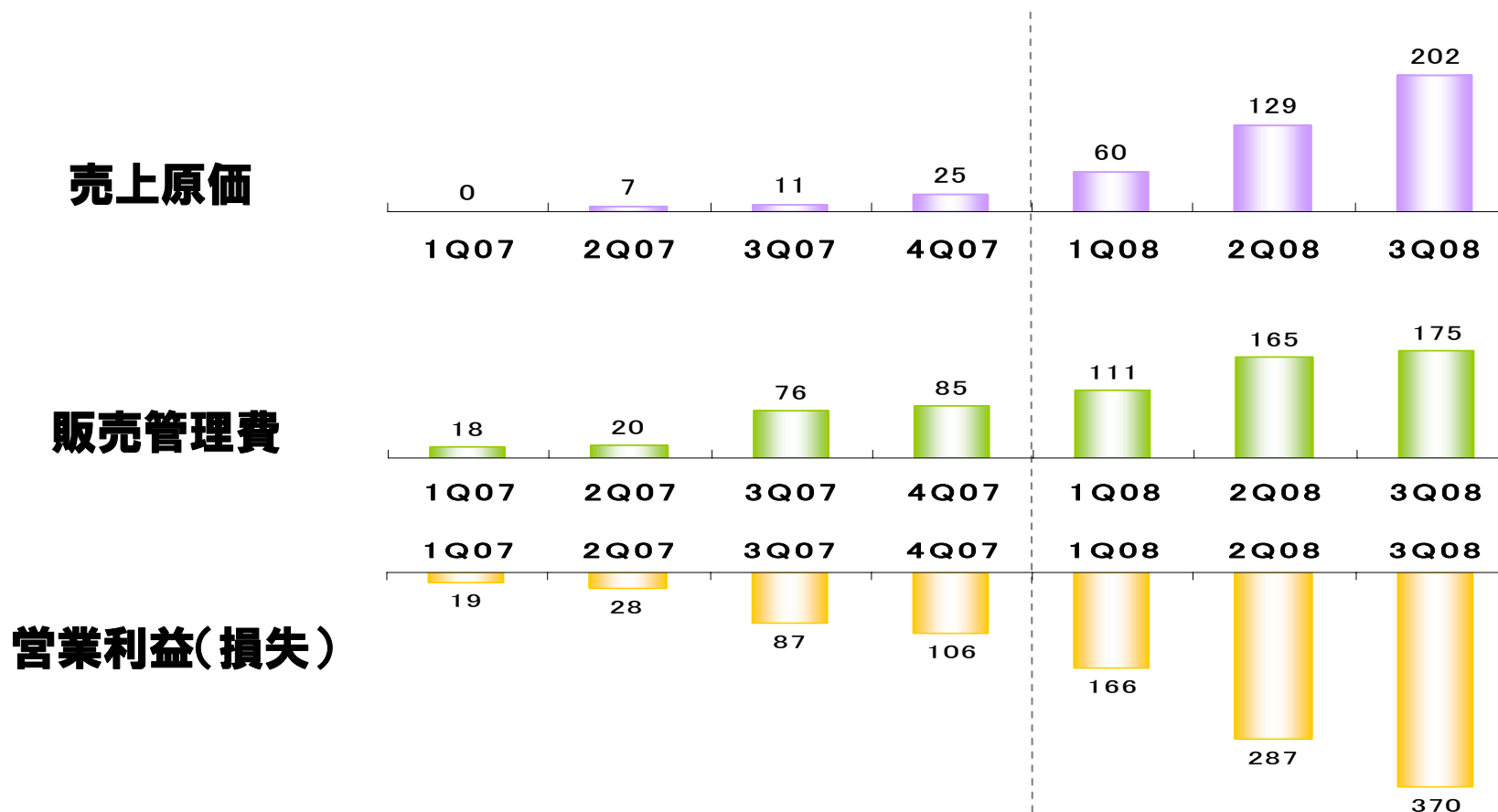
営業利益



◆ 売上・費用を既存事業・新設4子会社分に区分したもの

◆ 既存事業ベースでは 3Q08にて粗利率、営業利益率共に3Q07比向上、当期中は継続向上

II-12. 新規事業(新設子会社4社)の収益推移



- ◆ 売上・費用を既存事業・新設4子会社分に区分したもの
- ◆ 3Q08にてトラストネットワークスの損失235百万円

Ⅱ-13. 連結業績予想修正の内容

	<修正前予想>	<変動要因>	<修正後予想>
売上高	730億円	▶ 急速な景気悪化により足元のSI構築受注残高が低迷	<u>693億円</u> (修正前後比▲37億円)
営業利益	38億円	▶ SI構築売上高の減少見込に伴い売上総利益が減少	<u>28億円</u> (修正前後比▲10億円)
税引前利益	30億円	▶ 営業利益の減少	<u>19億円</u> (修正前後比▲11億円)
当期純利益	28億円	▶ 税引前利益規模の縮小 ▶ 足元の利益水準修正に伴う法人税等調整額(益)の見直し(約▲4億円)	<u>13億円</u> (修正前後比▲15億円)

II-14. モバイルソリューションの強化

- ▶ IIJは、シンクライアントや多機能データ通信カードをはじめとした端末セキュリティソリューションとの連携強化や、個人利用者へのサービス展開などを通して、お客様のニーズに応えるモバイルブロードバンドソリューションの提供に力を入れています。

独自端末

- ◆ エクスプレスカード型独自端末を3月より提供開始。
- ◆ 今後も独自端末のラインナップを拡充予定。
- ◆ 調達コスト低減



端末名称:110FE

端末セキュリティソリューション

- ◆ モバイル端末の提供から、データセンターでの集中管理、システム運用保守までを包括的にカバーするシンクライアント・ソリューションを、日本HPとの協業で開始
- ◆ 「Nonstop Laptop Guardian」(アルカテル・ルーセント製品)を利用して、遠隔データ消去やGPS機能など、持ち出しPCの遠隔監視・操作を行う高度なセキュリティソリューションを国内初提供

個人向けサービスの提供

- ◆ IIJモバイルの提供を通して培ってきた品質、安定性や運用ノウハウを最大限に活かし、新たに個人向けのモバイルデータ通信市場に参入
- ◆ 「IIJmio高速モバイル/EMサービス」および「hi-hoモバイルコース-EM7.2」として、個人向けにも、より安価で高品質なモバイル環境を提供



端末名称:
Nonstop Laptop Guardian



Nonstop Laptop Guardian画面
GPSで持ち出しPCの所在地を把握

II-15. 連結バランスシートの状況

	2008年12月末	2008年3月末	前期末比
現金及び現金同等物	8,955	11,471	△ 2,516
売掛金	9,570	12,255	△ 2,685
たな卸資産	1,618	1,184	+434
前払費用	2,434	2,005	+429
繰延税金資産(流動)	790	1,091	△ 300
その他投資	2,030	2,364	△ 333
有形固定資産	13,805	11,740	+2,065
営業権及び その他無形固定資産	5,846	5,907	△ 61
繰延税金資産(固定)	1,896	2,459	△ 563
銀行借入(短期)	7,800	9,150	△ 1,350
欠損金	△ 19,614	△ 19,555	△ 59
その他包括利益累計額	△ 149	91	△ 240
資本合計	24,382	24,981	△ 599
総資産	52,558	55,703	△ 3,144

- ▶ 上場株式等売却可能
有価証券615百万円
- ▶ 非上場株式813百万円
- ▶ 出資金等602百万円

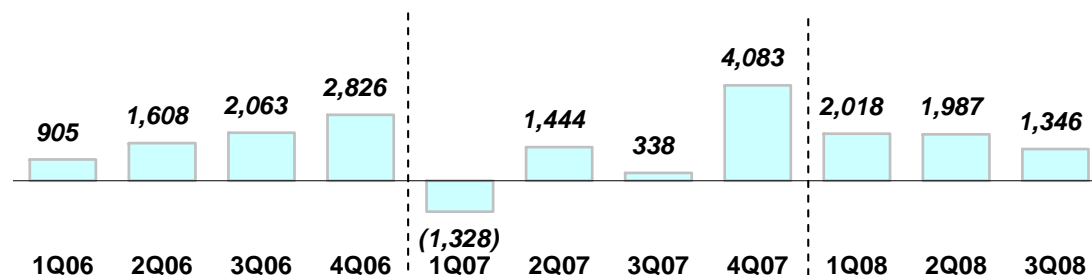
- ▶ 自社設備増加等による
有形固定資産増加

- ▶ 非償却無形固定資産残
高5,516百万円
- ▶ 償却対象無形固定資産
残高321百万円

- ▶ 株主資本比率46.4%

II-16. 連結キャッシュ・フローの状況

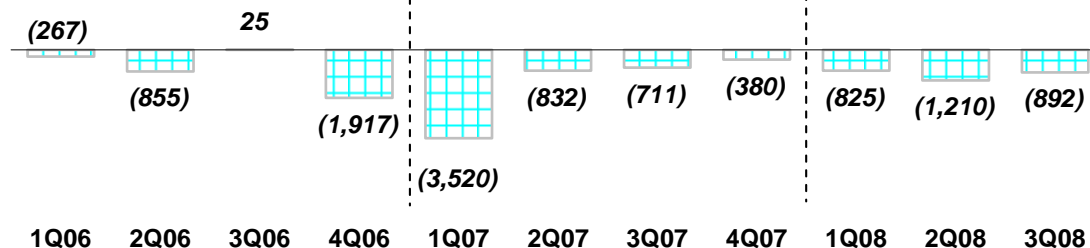
営業キャッシュ・フロー



3Q08営業CFは1,346百万円の収入

- ▶ 売掛金400百万円の減少
 - ▶ 仕入れに関する買掛金及び未払金の減少、SI案件に関するたな卸資産及び前払費用等の増加
- 等

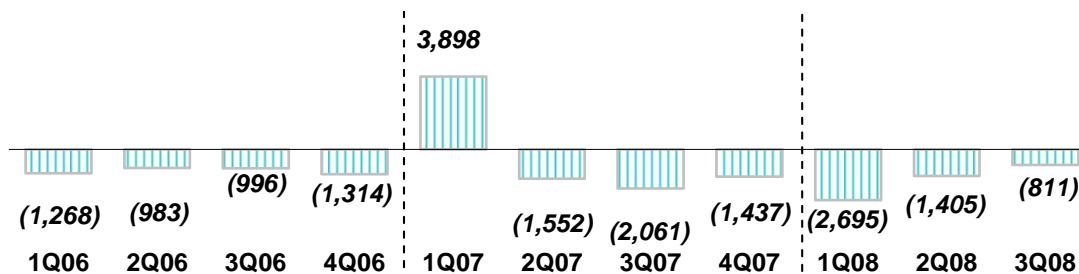
投資キャッシュ・フロー



3Q08投資CFは892百万円の支出

- ▶ 有形固定資産の取得による支出915百万円
- ▶ 短期投資及びその他投資の売却による収入37百万円

財務キャッシュ・フロー



3Q08財務CFは811百万円の支出

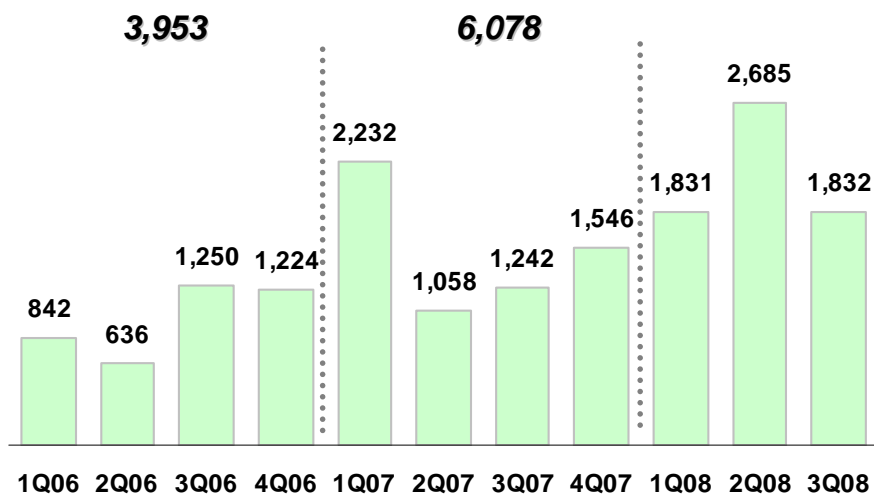
- ▶ 短期借入の調達800百万円(純額)
- ▶ キャピタルリース債務の元本返済
1,104百万円
- ▶ 配当金の支払206百万円
- ▶ 自己株式の取得301百万円

等

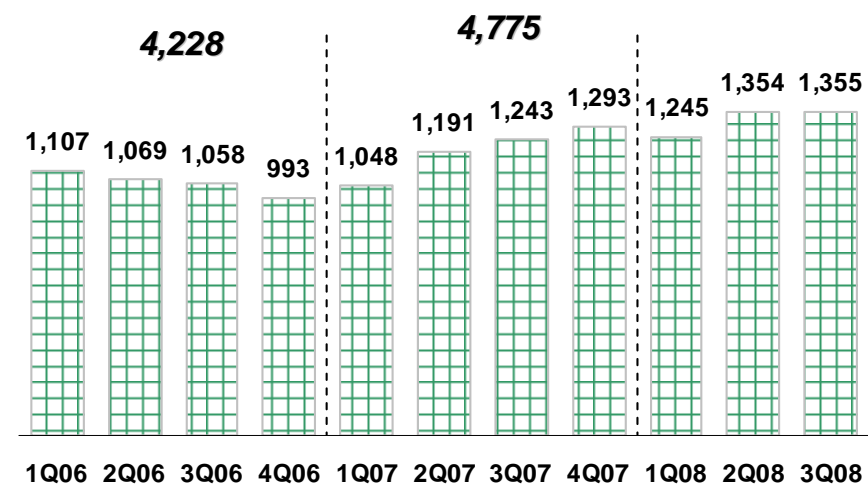
II-17. CAPEX・減価償却・Adjusted EBITDA の状況

CAPEX（設備投資額、キャピタルリースを含む）

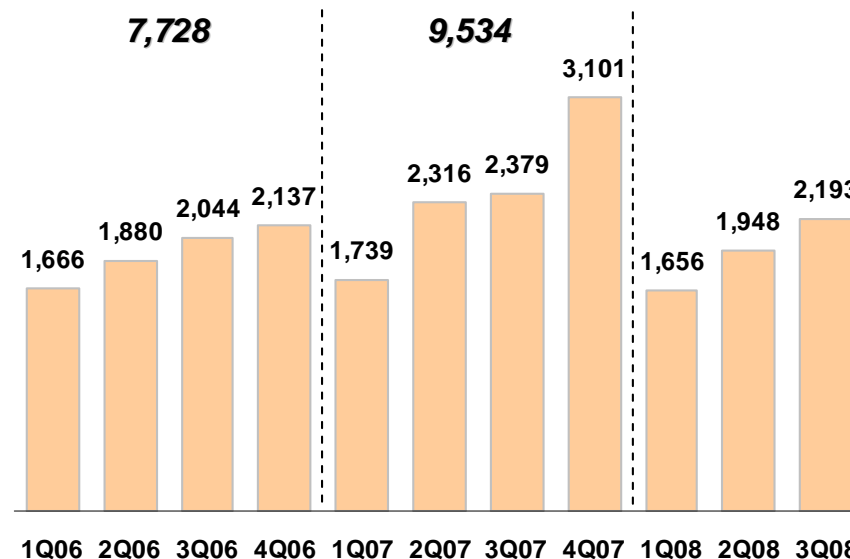
単位：百万円



減価償却



Adjusted EBITDA（償却前営業利益）



Ⅲ-1. ご参考：2009年3月期 第3四半期(3ヶ月)連結実績

(単位：億円)

	売上比 3Q08 (08/10~08/12)	売上比 3Q07 (07/10~07/12)	前年同 四半期比
営業収益 (売上高)	175.4	183.6	△ 4.5%
売上原価	80.8% 141.7	80.9% 148.5	△ 4.6%
売上総利益	19.2% 33.6	19.1% 35.1	△ 4.1%
販売管理費等	14.4% 25.3	12.9% 23.7	6.5%
営業利益	4.8% 8.4	6.2% 11.4	△ 26.2%
税引前 第3四半期利益	2.7% 4.8	5.5% 10.2	△ 53.2%
第3四半期純利益	△ 0.1% △ 0.1	3.3% 6.1	△ 102.2%

Ⅲ-2. ご参考：2009年3月期 連結業績予想

	FY08(予) (08/4~09/3)	FY07実績 (07/4~08/3)	前年度比	
営業収益 (売上高)	69,300	66,835	2,465	3.7%
営業利益	2,800	4,759	△ 1,959	△41.2%
税引前 当期利益	1,900	4,362	△ 2,462	△56.4%
当期純利益	1,300	5,177	△ 3,877	△74.9%
一株当たり 当期純利益	6,336円	25,100円	△18,764円	△74.8%
一株当たり 配当金	2,000円 (年間)	1,750円 (年間)	250円	14.3%

Ⅲ-3. ご参考:グループ会社一覧

	社名	出資比率	主な事業内容
連結 子会社	 (株)アイアイジェイテクノロジー	100%	システムの設計、開発、構築及び運用保守等
	 (株)アイアイジェイ フィナンシャル システムズ		金融機関向けシステムの開発、運用保守等
	 (株)ネットケア		ネットワークシステムの運用監視、カスタマーサポート、コールセンター等
	 ネットチャート(株)		LAN関連を中心としたネットワーク構築等
	 IIJ America Inc.		米国でのインターネットバックボーン網の運用、インターネット接続サービスの提供等
	 (株)ハイホー		個人向けISP事業等
	新規事業 (FY07~)		 オンデマンドソリューションズ(株)
 (株)イノベーション インスティテュート		インターネット技術開発および インキュベーション事業等	
 (株)トラストネットワークス		ATM・ネットワークの運営等	
 GDX Japan(株)		メッセージ交換ネットワークサービスの提供等	
持分法 適用 関連会社	 インターネットマルチフィード(株)	31%	相互接続ポイントの運営、コンテンツ配信等
	 (株)インターネットレボリューション	30%	インターネットポータルサイトの運営等
	 TAIHEI COMPUTER タイハイコンピュータ(株)	45%	ポイント管理システムの提供等

Ⅲ-4. ご参考：2009年3月期下期 主要プレスリリース一覽

期	日付	項目
FY08	3Q	10/1 IIJ、「IIJ大規模コンテンツ配信サービス」を提供開始
		10/7 IIJ、インターネットの最新技術動向・セキュリティ情報を定期的に発信
		10/8 IIJ、IIJ-Tech、日本HP「モバイルシンクライアント・ソリューション」において協業
		10/14 IIJ、法人向けモバイル通信サービス分野でアルカテル・ルーセントと協業
		10/20 IIJ、カブドットコムが提供する業界初の移動営業所向けにネットワークインフラを提供
		10/24 業績予想の修正に関するお知らせ
		10/28 自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ
		11/7 IIJグループ、「練馬データセンター」を新たに開設
		11/10 IIJとシンメトリック、携帯サイト向けホスティングサービスで協業
		11/13 平成21年3月期 第2四半期決算発表
		12/1 IIJグループ、個人向けサービス「IIJmio」と「hi-ho」において高速モバイルデータ通信サービスを提供開始
		12/10 自己株式の取得状況に関するお知らせ
		12/18 GDX、ファイル転送サービス「GDX Drop Box」を提供開始
	4Q	2009/1/7 自己株式の取得状況に関するお知らせ
		1/27 IIJ、自社サービスとネットワーク設備におけるIPv6への対応状況を発表
		1/30 自己株式の取得状況及び取得終了に関するお知らせ
		2/3 IIJ、Webアクセス環境のセキュリティを最適化する「IIJセキュアWebゲートウェイサービス」を開始
		2/9 IIJ、「IIJモバイル」に独自開発のデータ通信端末を追加し、ラインナップを拡充

※ 事業等のリスク

本資料には、1995年米国民事訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の「セーフハーバー」規定に定義する「将来性の見通しに関する記述(forward looking statements)」に該当する情報が記載されています。本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。現時点において想定しうる当社グループの主なリスク及び不確実性として、

- 1) 国内景気の低迷、経済情勢の変化等による企業のシステム投資及び支出意欲の低下、
- 2) サービスの中断等による当社グループのサービスへの信頼性の低下及び事業機会の逸失、
- 3) ネットワーク関連費用、外注費、人件費等、費用規模の想定を超える増加、
- 4) 競合他社との競争及び価格競争の進展、
- 5) 投資有価証券及び営業権等ののれん資産の価値変動及び実現、
- 6) 税効果会計による法人税等調整額の規模及び実現時期の変動

等がありますが、これら及びその他のリスク及び不確実性については、当社グループまたは当社が、1934年米国証券取引法(Securities Exchange Act of 1934)に基づき米国証券取引委員会に届出し開示している英文年次報告書(Form 20-F)及びその他の書類をご参照下さい。

※ お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ (財務部 IR室)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL: 03-5259-6500 FAX: 03-5259-6311 URL: <http://www.ij.ad.jp/IR> E-Mail: ir@ij.ad.jp

